

平成 25 年度

# 一般社団法人日本建設機械施工協会会長賞 受賞業績

一般社団法人日本建設機械施工協会会長賞は、我が国の建設事業における建設機械及び建設施工に関する技術等に関して、調査・研究、技術開発、実用化等により、その高度化に顕著な功績をあげたと認められる業績を表彰し、もって国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与することを目的としております。

平成 25 年度は、7 件の応募があり、その中から会長賞選考委員会（委員長：深川良一 立命館大学教授）において厳正な審査を行った結果、下記のとおり、4 件が選考され、去る 5 月 29 日に開催された当協会通常総会后、表彰されましたのでご紹介致します。

なお、4 件の受賞業績の全文を、本誌次号以降に順次掲載致します。

## 受賞業績及び受賞者

### ■会長賞

- ・放射性物質汚染土壌の効率的な浄化・減容化システムの開発

清水建設株式会社

時宜にかなった提案であり、かつ技術的な裏付け（関連基礎研究）もしっかりしている。減容化によるコスト削減効果は大きく今後のさらなる進歩が期待される技術として多くの選考委員により高く評価された。

### ■貢献賞

- ・災害復旧工事で活躍する「次世代無人化施工システム」

鹿島建設株式会社

災害復旧というニーズに応え、無人化施工技術を大いに前進させた点は高く評価できる。ITC 技術等の活用により遠隔操作の適用範囲が拡大され、厳しい条件の下で機械施工を有効に機能させた部分等が高く評価された技術。

### ■貢献賞

- ・ネットワーク型次世代無人化施工システムの開発

一般財団法人先端建設技術センター  
九州地方整備局  
九州地方整備局雲仙復興事務所  
近畿地方整備局  
近畿地方整備局紀伊山地砂防事務所  
株式会社熊谷組  
西松建設株式会社

今後の災害の激化・大規模化に対応できる技術で、新しい手法による超長距離での重機遠隔操作を可能にしており、災害復旧に大いに貢献できる技術。今後も必要な技術であり、実際の現場で顕著な成果を上げた点、将来性等が特に高く評価された。

### ■奨励賞

- ・ドライアイスブラスト工法を用いた除染装置「DB 除染ロボ」の開発

大成建設株式会社

ドライアイスの特徴が有効に活用されており、時代の要請に応えるべく開発された技術。ドライアイスを用いた工法を舗装の除染に応用し、ロボット化にまで発展・実用化させた点等が選考委員に評価された。